

令和 8 年 度

事業概要書

豊後大野土木事務所

目 次

1.	職員配置表	1
2.	管内の現況	2
	（1）道路現況（国道、県道）	3
	（2）河川現況	4
	（3）砂防現況	5
3.	令和7年度の事業概要	
	（1）主要施策の執行状況	8
	（2）公共事業施行箇所調書	10
	（3）単独事業調書	16
	（4）災害復旧事業進捗状況調書	17
	（5）検査箇所調書	17
	（6）建設リサイクル法第10条に基づく届出及び第11条に基づく通知件数	17
4.	用地登記事務処理状況	18
5.	建築関係事務処理状況	
	（1）建築確認申請、建築工事届、建築許可及び住宅金融公庫申請件数	18
	（2）建築基準法による道路位置指定件数	18
	（3）都市計画法第29条第1項及び第2項に基づく開発許可件数	18

1 職員配置表

(令和8年4月1日現在)

現員組織	職 種	一般行政職		技能労務職員					計	非常勤嘱託	備 考		
		事務	技術	事務補佐	技術補佐	技師	道路パトロール員	土木巡視				業務技師 (道路パトロール員)	
現 員	所 長		1						1		小計 1		
	総務課	次長兼課長	1							1			
		総務班	5							5	2		
		用地班	3							3	4	小計 15	
	企画調査課	課 長		1						1			
		企画調査班		3						3			
		建築住宅班		3						3	1	小計 8	
	建設・保全課	課 長		1						1			
		管 理 班	2						1	3	1		
		保 全 班		6				1		7	1		
		道 路 班		5						5			
		河川砂防班		4						4		小計 22	
	計		11	24	0	0	0	1	1	0	37	9	総合計 46

2. 管内の現況

当管内は、県の南西部に位置し、南部は祖母、傾連山にて宮崎県と接し、中央部を大野川が南西から北に向って貫流している。平地部は大野川本川と支川に沿って開けているが、山間部が管内面積の74.2%を占めている。

所管面積は603km²であり、佐伯土木事務所、大分土木事務所、日田土木事務所に次いで4番目となっている。

なお、当事務所管轄の豊後大野市は、平成17年3月31日、旧5町2村の合併により誕生した。旧町村別の面積、人口は、下表のとおりである。

市内地区名	旧三重町	旧清川村	旧緒方町	旧朝地町	旧大野町	旧千歳村	旧犬飼町	計
面積	162 km ²	47 km ²	148 km ²	68 km ²	109 km ²	21 km ²	47 km ²	603 km ²
人口	15,438 人	1,550 人	3,926 人	1,972 人	3,537 人	1,726 人	3,060 人	31,209 人
高齢化率						65歳以上	14,238 人	45.6%

[令和8年3月31日現在]

2. 管内の現況

(1) 道路現況(国道、県道)

(整備状況)

(令和6年3月31日現在)

道路種別	路線数	実延長(km)	改良内訳		舗装内訳	
			改良済(km)	改良率(%)	舗装済(km)	舗装率(%)
国 道	(5)	(86.8)	(84.0)	(96.8)	(86.8)	(100.0)
	3	58.4	55.7	95.3	58.4	100.0
主要地方道	6	90.7	56.9	62.8	90.7	100.0
一般県道	18	164.6	107.6	65.4	162.9	98.9
計	(29)	(342.1)	(248.5)	(72.6)	(340.4)	(99.5)
	27	313.7	220.2	70.2	312.0	99.5

注1. 上段()は、国道の指定区間を含んだもの。

注2. 改良率は、車道幅員5.5m以上のもの。

注3. 旧道は含まない。

(橋梁数) (令和8年3月31日現在)

道路種別	箇所数	延長(m)
国 道	41	3,138.2
主要地方道	86	1,968.6
一般県道	118	3,737.4
計	245	8,844.2

注1. 旧道は含まない。

注2. 国道指定区間は含まない。

(トンネル数) (令和8年3月31日現在)

道路種別	箇所数	延長(m)
国 道	8	3,230.6
主要地方道	5	1,204.7
一般県道	5	580.1
計	18	5,015.4

注1. 旧道は含まない。

注2. 国道指定区間は含まない。

2. 管内の現況

(2) 河川現況

(一級河川：大野川水系)

(令和8年3月31日現在)

河川名	延長(km)	河川名	延長(km)	河川名	延長(km)	河川名	延長(km)	河川名	延長(km)
大野川	38.8	市万田川	10.0	秋葉川	2.3	西風寺川	3.0		
宇津尾木川	4.9	玉田川	5.2	福生寺川	2.0	小賀川	1.8		
柴北川	21.8	長谷川	2.2	牟礼川	1.7	真竹川	6.0		
栗ヶ畑川	3.5	三重川	18.0	奥岳川	28.0	緒方川	16.5		
成瀬川	3.3	又井川	6.3	中津無礼川	16.8	酒井寺川	8.7		
木浦内川	2.2	石用川	1.5	田口川	2.0	尾尻川	2.0		
茜川	18.3	軸丸川	2.0	広戸川	3.8	知田川	2.0		
西寒多川	0.9	西野川	1.2	藤浪川	2.5	小園川	1.8		
清田川	4.2	田代川	5.7	北園川	1.2	下小坂川	2.7		
熊ヶ谷川	2.8	菅生川	3.4	川入川	2.8	高屋川	2.5		
九折川	3.6	松尾川	6.0	徳田川	6.8	奥畑川	9.0		
平井川	17.8	加原川	1.6	寺畑川	2.3	板屋川	1.7		
中犬塚川	2.3	馬背戸川	8.5	十時川	6.1	枝石川	1.0		
竜千寺川	1.2	向原川	6.9	川内川	0.7				
								計 55 河川	341.8

2. 管内の現況

(3) 砂防現況

(砂防指定地)

(令和8年3月31日現在)

河川名	延長(m)	面積(ha)	河川名	延長(m)	面積(ha)	河川名	延長(m)	面積(ha)	河川名	延長(m)	面積(ha)
下栗林川	460	11.46	小津留川	2,400	4.80	中土師川	250	0.80			
松尾川	4,500	—	並石川(三重)	1,900	7.99	藤浪川	235	0.91			
小坂川	2,500	7.00	福原川(三重)	800	3.80	岩ノ上川	—	0.67			
三重川	5,400	13.32	津留田川	1,400	5.99	岩杉川	385	1.04			
三重川支川	30	—	申子川	1,300	7.11	片神川	137	0.55			
中津無礼川	8,300	25.00	仁田川	500	6.76	田附川	330	4.14			
久保尻川	1,000	3.00	岩下川	282	1.50	栗ノ木川	360	1.20			
冷水川	800	2.80	普門寺川	1,400	33.60	上重川	205	1.42			
桑ヶ内川	400	1.40	宮迫川	2,400	60.00	井ノ迫川	460	1.37			
木和田川	400	1.40	犬鳴川	3,500	70.00	衣掛川	119	0.44			
柚河内川	1,000	3.50	轟川	2,655	20.00	うど谷川	310	3.36			
コチジ川	620	1.90	奥岳川	12,500	87.50	高寺川	500	9.50			
河原内川	500	1.50	岳川	546	2.50	遠野川	440	4.36			
梅津川	850	2.60	徳尾川	1,000	7.62	十時川支川	159	0.62			
奥ヶ迫川	500	1.50	川入川	650	1.91	酒井寺川	356	2.98			
梅ノ木川	400	1.20	栗林川	—	1.70	内山川	480	1.53			
芝尾川	1,500	2.20	寺山川	720	4.64	高寺川第2	250	2.52			
裏谷川	500	1.00	谷門谷川	550	5.70	黒谷川	300	8.19			
高屋川	2,600	2.60	平井川	6,300	15.90	下鷺谷川	174	1.51			
入北川	2,300	9.20	なら山川	580	5.00	大無礼川	209	0.74			
湯舟川	1,500	3.75	市万田川	3,400	22.18	吐合川	382	1.67			
山ノ口川	1,000	3.00	市万田川支川	1,000	—	北平川	240	1.10			
小木浦川	1,000	3.00	茜川	4,200	16.00	郷野平川一支溪	207	2.09			
吹原川	900	2.60	田代川(大野)	10,000	5.00	小福手谷川	254	0.58			
土祝川	1,000	4.00	柴北川	10,000	35.00	志田原川	154	16.00			
荒谷川	1,700	5.10	木浦内川	900	12.80				合計	122,219	635.68
福河内川	1,000	2.50	酒井寺川支川	280	1.52				計	81河川	
鹿毛川	1,300	3.20	矢形川	200	0.14						

2. 管内の現況

(3) 砂防現況

(急傾斜地崩壊危険箇所市町村別 (整備率) 一覧表)

(令和8年3月31日現在)

市内地区名	指定箇所数 A	危険箇所数 B	要対策箇所数 C	概成箇所数 D	要対策箇所の整備率 D/C
旧三重町	28	66	58	16	27.6%
旧清川村	5	15	14	4	28.6%
旧緒方町	19	54	52	15	28.8%
旧朝地町	16	36	29	11	37.9%
旧大野町	25	49	45	25	55.6%
旧千歳村	7	11	10	7	70.0%
旧犬飼町	16	41	32	17	53.1%
計	116	272	240	95	39.6%

※ 指定箇所：危険箇所のうち、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき急傾斜地崩壊危険区域に指定した箇所
 危険箇所：急傾斜地崩壊危険箇所（斜面勾配30度以上で高さ5m以上の箇所）のうち、保全人家5戸以上の箇所
 要対策箇所：危険箇所のうち、人工斜面（開発行為等により人工的にできた斜面）を除いた箇所
 概成箇所：要対策箇所のうち、急傾斜地崩壊防止施設を整備済みの箇所

2. 管内の現況

(3) 砂防現況

(町村別地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域)

(令和8年3月31日現在)

市内地区名	地すべり防止区域		急傾斜地崩壊危険区域	
	指定箇所数	面積 (ha)	指定箇所数	面積 (ha)
旧三重町	2	14.99	28	26.23
旧清川村	—	—	5	4.79
旧緒方町	1	17.11	19	22.21
旧朝地町	2	43.08	16	23.03
旧大野町	2	17.19	25	17.53
旧千歳村	1	9.21	7	8.22
旧犬飼町	1	31.50	16	14.38
計	9	133.08	116	116.39

(1) 主要施策の執行状況

【道路事業；(一)三重新殿線バイパス(牟礼前田工区)】

本路線は、現道は三重町駅から千歳町及び県道57号竹田犬飼線へ至り、豊後大野市の東部を南北に結ぶ約8kmの一般県道であるが、地域高規格道路である中九州横断道路千歳ICと、豊後大野市中心部及び国道326号を連結する約10kmのバイパスとして、平成10年度より着手した県南内陸部における広域交流を支える幹線道路である。

本路線は、全体を7工区に分割して整備を行い、平成16年度に完成した前田新殿工区を皮切りに、平成19年度に赤嶺工区、平成25年度に内田赤嶺工区、平成28年度に赤嶺牟礼工区、平成29年度(平成29年12月)には内田工区、令和4年度(令和5年2月)には秋葉内田工区が完成し、6工区(約7km)が供用されている。

牟礼前田工区は、平成26年度より事業着手し、路線測量・地質調査・道路設計を行い、平成28年度から用地買収に着手している。令和元年度から工事に着手し、令和8年度も引き続き工事進捗を図る。

【交通安全事業；国道326号(小坂工区)】

本工区は、法指定通学路に指定されているものの、歩道が未設置又は狭小区間であり、通学時間帯に歩行者・自転車が集中するため、児童が車道部にはみ出して通行するなど危険な状況であることから、自歩道整備により、歩行者・自転車の安全な通行空間を確保し、安全性の向上を図ることを目的に、平成29年度より交通安全事業に着手している。路線測量・詳細設計を行い、平成30年度から用地買収に着手しており、令和4年度から工事着手をしている。令和8年度も引き続き用地買収を行うとともに、工事進捗を図る。

【道路事業；橋梁補修、トンネル補修】

当管内の橋梁(245橋)のうち、1巡目点検要対策箇所57橋については、令和2年度末までに対策が完了。さらに2巡目点検要対策箇所38橋については令和4年度末までに対策が完了している。3巡目点検(令和元年度～令和5年度)要対策箇所8橋については対策実施中であり、令和7年度までに6橋の対策が完了し、残る2橋についても令和8年の出水期までに完了予定である。また、令和8年度には、4巡目点検(令和6年度～)の要対策箇所6橋の対策に着手する。(工事1橋、委託5橋)

また、トンネル(19箇所(男嶽TN含む))については、1巡目点検要対策箇所14箇所は平成30年度末までに対策が完了し、2巡目点検要対策箇所の6箇所は令和4年度に全6箇所の対策を完了した。3巡目点検(令和元年度～令和5年度)で確認された要対策箇所6箇所については、令和7年度までに3箇所の対策が完了している。令和8年度には残る3箇所の対策を実施するとともに、4巡目点検(令和6年度～)の要対策箇所1箇所の工事に着手する。

【河川事業；平井川(上流)】

平井川は河川断面が狭小であり、洪水の度に氾濫、平成15年および17年に家屋や田畑の浸水被害をもたらしてきた。事業延長が7.7kmと長く事業規模が大きいため、平成2年度の事業採択時より家屋等の資産がある箇所から順に河川改修を行っている。平成22年度から朝地工区に着手し令和7年度に完成し、令和8年度は両家上工区の完成に向けて工事進捗を図る。また、次期工区である両家・大原工区については工事着手に向けた準備を進める。

(1) 主要施策の執行状況

【通常砂防事業；郷野平川二支溪】

本溪流内には溪岸浸食による土砂の堆積や倒木が見られ、近年の集中豪雨により土石流災害発生の危険性が懸念されている。また、郷野平川二支溪の土砂災害警戒区域には10戸の人家に加え、県道朝地直入線が存しており、ひとたび土砂災害が発生すると人命や社会活動に与える影響は大きい。

このため、砂防堰堤1基を計画し令和2年度から事業着手、令和9年度の完成を目指し、引き続き事業進捗を図る。

【地すべり事業；山内地区】

犬飼町山内地区は、保全対象として人家11戸および地域防災計画に記載された避難場所の山内集会所、県道中土師犬飼線を含む地すべり防止区域である。

昭和55年に地すべり変状が確認され、昭和57年度より事業着手し、平成13年度まで抑制工・抑止工を施工し一定の安全率の上昇が確認されたが、目標安全率までは到達できなかった。平成14年度より自動観測システムにより観測を行っているが、いまだ変状が確認されている。令和7度に集水井工1基が完成、引き続き令和8年度に集水井工1基の施工を行い事業進捗を図る。

【街路事業；駅前高市線（市場工区）】

駅前高市線は、JR三重町駅と国道326号を東西方向に結ぶ、都市計画道路である。本路線は三重第一小学校の通学路になっており、ほかにも、三重中学校、三重総合高校など多くの生徒が利用しているが、歩道がなく、通学生が路肩を歩く、車両の路肩停車の際には歩行者が車道にはみ出すといった、非常に危険な状態であることから、安全安心な都市空間の形成、JR三重町駅周辺のまちづくり、地域内の交通アクセス機能の改善を目的として、主に歩道等の設置を令和3年度から都市計画事業として着手している。

令和4年度から用地買収に着手し、令和8年度も引き続き用地買収を実施するとともに、工事着手予定である。

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています

注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります

注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調査

図面 番号	区分	種別	工種	路線・河川名	位置		工 事 費(千円) 上書き()は用補費	新規継続 の 別	概 要	全 体 事 業 費		
					町 名	大 字				令 和 8 年 度 9 年 度 以 降	C =金額 (千円) L =延長(換算)(m)	
1	道 路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	三重弥生線 (松尾3)	三重町	松尾	(1,000) 5,000	継 続	C = C = C =	540,000 5,000 473,000	L = L = L =	290 m 3 m 254 m
2	"	防災・安全 交付金	道路改良	緒方朝地線 (上尾塚)	朝地町	上尾塚	(0) 110,000	継 続	C = C = C =	1,854,000 110,000 331,000	L = L = L =	1,230 m 73 m 220 m
3	"	社会資本 整備総合 交付金	道路改良	緒方高千穂線 (小原)	緒方町	小原	(0) 15,000	継 続	C = C = C =	1,070,000 15,000 1,035,000	L = L = L =	660 m 9 m 638 m
4	"	防災・安全 交付金	道路改良	三重新殿線 (牟礼前田)	三重町	百枝	(1,000) 1,184,000	継 続	C = C = C =	8,800,000 1,184,000 888,000	L = L = L =	3,040 m 409 m 307 m
			道路改良計	4 箇所			(2,000) 1,314,000					

令和8年4月7日現在

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
 注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
 注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調書

図面 番号	区分	種別	工種	路線・河川名	位置		工事費(千円) 上書き()は用補費	新規継続 の別	概要	全 令 9	体 和 8	事 業 費 年 度 以 降	C = 金額 (千円) L = 延長(換算) (m)
					町名	大字							
5	道路	補助	交通安全	国道326号 (小坂)	三重町	小坂	(4,000) 70,000	継 続	C = C = C =	1,560,000 70,000 257,000	L = L = L =	960 m 43 m 158 m	
6、14	"	補助	橋梁補修	百枝大野線 外 (田中跨道橋)	大野町	田中	(0) 102,116	継 続	C = C = C =	1,232,000 102,116 20,030	N = N = N =	103 橋 3 橋 1 橋	
7、10	"	補助	橋梁点検	管内一円	管内一円	-	(0) 50,000	継 続	C = C = C =	- 50,000 -		橋梁点検一式	
8、12	"	補助	トンネル点検	管内一円	管内一円	-	(0) 10,002	継 続	C = C = C =	- 10,002 -		トンネル点検一式	
9、13	"	補助	附属物点検 (横断歩道橋)	管内一円	管内一円	-	(0) 4,500	継 続	C = C = C =	- 4,500 -		横断歩道橋点検一式	
11	"	防災・安全 交付金	災害防除	緒方高千穂線	緒方町	小原	(0) 9,400	継 続	C = C = C =	- 9,400 -			
15、16	"	防災・安全 交付金	交通安全 (区画線)	管内一円	管内一円	-	(0) 5,000	新 規	C = C = C =	- 5,000 -		L = 500 m	
							(4,000) 251,018						

令和8年4月7日現在

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています

注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります

注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調査

図面 番号	区分	種別	工種	路線・河川名	位置		工 事 費(千円) 上書き()は用補費	新規継続 の 別	概 要	全 体 事 業 費 令 和 8 年 度 9 年 度 以 降	C=金額(千円) L=延長(換算)(m)	
					町 名	大 字						
17	河 川	防災・安全 交付金	広域河川	平井川 (上流)	朝地町	下野～朝地	(0) 40,000	継 続	C = C = C =	2,117,000 40,000 402,500	L = L = L =	77,000 m 1455 m 14,640 m
18	"	防災・安全 交付金	広域河川	平井川 (下流)	大野町～朝地町	矢田～下野	(0) 40,000	継 続	C = C = C =	2,974,000 40,000 653,000	L = L = L =	9,350 m 126 m 2,053 m
			河川計	2 箇所			(0) 80,000					

令和8年4月7日現在

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています

注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります

注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調査

図面 番号	区分	種別	工種	路線・河川名	位置		工事費(千円) 上書き()は用補費	新規継続 の別	概要	全体事業費 令和8年度 9年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算)(m)	
					町名	大字						
19	砂防	防災・安全 交付金	通常砂防	郷野平川二支溪	朝地町	栗林	(0) 4,000	継 続	C = C = C =	360,000 4,000 146,000	砂防ダム 砂防ダム 砂防ダム	H=6.0m H=6.0m H=6.0m
20	〃	防災・安全 交付金	通常砂防	志田原川	犬飼町	山内	(0) 40,000	継 続	C = C = C =	175,000 40,000 21,000	砂防ダム 砂防ダム 砂防ダム	H=6.0m H=6.0m H=6.0m
21	〃	防災・安全 交付金	通常砂防	衣掛川②	犬飼町	黒松	(0) 30,000	新 規	C = C = C =	200,000 30,000 170,000	砂防ダム 砂防ダム 砂防ダム	H=8.5m H=8.5m H=8.5m
22	〃	防災・安全 交付金	地すべり対策	山内地区	犬飼町	山内	(0) 48,000	継 続	C = C = C =	550,000 48,000 45,000	A = 抑制工 抑止工	35.5 ha 1式 1式
23	〃	防災・安全 交付金	急傾斜地崩壊対策	寺田地区	朝地町	朝地	(0) 4,000	継 続	C = C = C =	250,000 4,000 69,000	L = L = L =	130 m 2 m 36 m
24	〃	防災・安全 交付金	急傾斜地崩壊対策	菅生地区	三重町	菅生	(0) 10,000	継 続	C = C = C =	150,000 10,000 48,000	L = L = L =	140 m 9 m 45 m
25	〃	防災・安全 交付金	急傾斜地崩壊対策	田原地区	犬飼町	田原	(0) 13,000	継 続	C = C = C =	225,000 13,000 189,000	L = L = L =	150 m 9 m 126 m
26	〃	防災・安全 交付金	急傾斜地崩壊対策	寺原地区	緒方町	寺原	(1,000) 30,000	継 続	C = C = C =	250,000 30,000 120,000	L = L = L =	240 m 29 m 115 m

令和8年4月7日現在

注1：補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています

注2：工事費は、内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります

注3：事務費除きの工事費を記載しています

(2) 公共事業施行箇所調査

図面 番号	区分	種別	工種	路線・河川名	位置		工事費(千円) 上書き()は用補費	新規継続 の別	概要	全体事業費 令和8年度 9年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算)(m)
					町名	大字					
27	〃	補助	砂防メンテ	松尾川	三重町	鷺谷	(0) 6,000	継続	C = 22,000 C = 6,000 C = 0	22,000 6,000 0	砂防堰堤修繕工 1式
28	〃	補助	砂防メンテ	長田地区	千歳町	前田	(0) 2,000	継続	C = 150,000 C = 2,000 C = 39,000	150,000 2,000 39,000	地すべり施設修繕工 1式
29	〃	補助	砂防メンテ	鷺谷地区	三重町	鷺谷	(0) 4,000	継続	C = 19,000 C = 4,000 C = 0	19,000 4,000 0	地すべり施設修繕工 1式
30	〃	補助	砂防メンテ	山内地区	犬飼町	山内	(0) 22,000	新規	C = 90,000 C = 22,000 C = 25,000	90,000 22,000 25,000	地すべり施設修繕工 1式
31	〃	補助	砂防メンテ	志手前地区	三重町	赤峰	(0) 6,000	新規	C = 12,500 C = 6,000 C = 5,000	12,500 6,000 5,000	急傾斜施設修繕工 1式
			砂防計	13ヶ所			(1,000) 219,000				

令和8年4月7日現在

※注1: 工事費は各事業担当課が別途送付する作業値を記載しており、執行額とは異なります。
 ※注2: 歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。
 ※注3: 事務費除きの工事費を記載しています

(3) 単独事業調書

事業名	工事費(千円)	摘要	事業名	工事費(千円)	摘要
交通安全事業	31,826		街路改良事業	82,926	
側溝整備事業	6,516		都市計画計	82,926	
道路防災事業	53,876		県営住宅等管理対策事業	3,600	
身近な道改善事業	64,185		建築計	3,600	
道路改良事業	243,125		共生のまち整備事業	4,590	
道路施設補修事業	97,347		地域の安心基盤づくりサポート事業	4,723	
道路計	496,875		その他計	9,313	
緊急河床掘削事業	50,000		単独事業合計	990,944	
河川海岸改良事業	180,000				
河川計	230,000				
急傾斜地崩壊対策事業	147,000				
砂防調査費	5,480				
砂防改修事業	15,750				
砂防計	168,230				

令和8年4月1日現在

(4) 災害復旧事業進捗状況調書

金額 (千円)

年災別	査定決定工事費		実施(発注)工事費		令和7年度までの完了工事費		残工事費 (B-C)		進捗率 (B)/(C)
	箇所数	金額(A)	箇所数	金額(B)	箇所数	金額(C)	箇所数	金額(D)	
R4 災	27	448,232	27	465,411	27	465,411	0	0	100%
R5 災	2	12,056	2	15,041	2	15,041	0	0	100%
R6 災	29	746,018	29	805,894	27	371,452	2	434,442	46%
R7 災	0	0	0	0	0	0	0	0	-
計	58	1,206,306	58	1,286,346	56	851,904	2	434,442	66%

(5) 検査箇所調書

年度別	平成27年度から 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	摘要
検査箇所数	1281 箇所	179 箇所	201 箇所	157 箇所	147 箇所	148 箇所	
請負金額	24,530,365 千円	3,350,705 千円	3,835,669 千円	2,904,679 千円	2,842,367 千円	2,934,036 千円	

(6) 建設リサイクル法第10条に基づく届出及び第11条に基づく通知件数

区分	年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	備考
		2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	
届出		114	117	121	98	107	112	98	118	
通知		433	426	496	472	418	412	382	316	

※届出とは国の機関又は地方公共団体以外の者が行う場合

※通知とは国の機関又は地方公共団体が行う場合

4. 用地登記事務処理状況

(1) 用地登記事務処理状況（昭和38年度以降分）

年 度	S38～R2	R3	R4	R5	R6	R7	合 計
取 得 筆 数	21,643	83	91	88	68	46	22,019
R6年度までの 処理筆数	21,381	83	91	88	57	0	21,700
R7年度中の 処理筆数	1	0	0	0	11	43	55
残 筆 数	261	0	0	0	0	3	264
登 記 率	98.79	100.00	100.00	100.00	100.00	93.48	592.27

5. 建築関係事務処理状況

(1) 建築確認申請（計画通知含む）、建築工事届、建築許可件数

区分 \ 年度	R2迄	R3	R4	R5	R6	R7
土木毎	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分
建築確認申請受理件数	153(12)	35(1)	30(4)	22(1)	16(3)	14(0)
建築工事届受理件数	454	95	72	64	69	43
建築許可申請受理件数	1	0	0	0	0	0

※（ ）は、外数で変更確認受理件数を示す。

(2) 建築基準法による道路位置指定件数

区分 \ 年度	R2迄	R3	R4	R5	R6	R7
土木毎	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分
件 数	2	0	0	0	0	0

(3) 都市計画法第29条第1項及び第2項に基づく開発許可件数

区分 \ 年度	R2迄	R3	R4	R5	R6	R7
土木毎	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分	2土木分
件 数	7(3)	0	1(0)	0	0	0
面 積 (ha)	9.3	0	1.3	0.0	0.0	0.0

※（ ）は、内数で変更許可件数を示す。

